

No.	第15回 全日本小中学生ロボット選手権 FAQ（中学生部門） R4.9.9 現在	
1	ホールインエリアの穴は、貫通していると考えてよいか。	ホールインエリアの穴は全て貫通しています。
2	ユカイ工業のキットは電池が2本入るBOXが2つ付いていて、1つで2chまで駆動でき、2つで4chまでとなっているが、ルールでは電池は2本までとなっており、電池BOXそのものの改造をしないと電池2本で4chまで動かせない。どうすればいいか。	ユカイ工学社の中学生用キットは、今年度の競技のために急いだため小学生用のキットの電池ボックスを使用しています。そのため、ケーブルの差し込みだけでは1つの電池ボックスで2ch分の駆動しかできない配線となっています。 今年度は、ボックスは1個のみとし、3ch以上は半田付けなどで実現するよう工夫して下さい。 なお、次年度は4chが実現できる電池ボックスとするよう、開発を依頼しています。
3	スイッチは4chまでとなっているが、検出用のリミットスイッチや光センサーもスイッチの数に入るか。	リミットスイッチや光センサーなどもスイッチとしてカウントします。
4	チャンネルは4チャンネルまでとのことであるが、1チャンネルから複数のモーターを繋げても良いか。またモーターのサイズはどのようなものでも良いか。	1チャンネルから複数のモーターを接続しても構いません。 また、接続するモーターは、キットのモーターを使用してから追加をしてください。 キットのモーターを使用せずにそれ以外のモーターに置き換えることはできません。
5	配布されたロボットキットと同じもの、またはパーツを購入して製作に使用することは可能か。	配布されたロボットキットと同じもの、またはパーツを購入して製作に使用することは可能です。 ただし、スイッチは4chまで、電源は電池2本までとなりますのでご注意ください。
6	ボトルが落ちると点数にならないということであれば、競技中、既に差し込まれたボトルが振動等で落ちてしまった場合、得点にならないということか。	コンプリートまたは競技終了時まで差し込まれたボトルが維持されていることが得点の条件です。競技途中でボトルが落ちた場合は得点なりません。
7	電気信号を送るケーブルを延長する場合、途中で切断しホームセンターなどで販売している電線で電気配線して接続しても良いか。また、コネクタを使用し接続したり、半田付けで接続するなど、電線の接続方法は可能か。	ケーブルを途中で切断して延長することは問題ありません。 また、コネクタの使用や半田付けなどで接続するなど、接続方法は自由です。

8	競技開始後、車体が分離するような機構をもつロボットは規則違反になるか。	ロボットの分離は可能とします。ただし、コントローラーは全体で1つとなりますのでご注意ください。
9	ボトルを持ち上げるために粘着テープ（両面テープなど）を使っても良いか。	ボトルを持ち上げるための粘着テープの使用は、粘着素材が競技用資材に付着し、その後の競技に支障をきたす可能性が高いため、使用は認めないこととします。
10	FAQ9で粘着テープの使用は認めないとなっているが、耐震ジェルマット同様か。	粘着系材料については、テープやジェルなどに関わらず一律に使用不可とします。 理由は、粘着しないことを製品ごとに実行委員会が確認し、製品指定をしなければならなくなるためであり、市場に出回る製品をその要望に応じてその都度確認することは実行委員会ではできなかっためです。
11	ホールインエリアを倒した状態でボトルを差し込むようにした場合、得点となるか。	ホールインエリアは、立てた状態でボトルを差し込むこととしており、倒した状態でボトルを入れても得点となりません。
12	ロボットの規格は競技ルールで3種類あげられていますが、そのキット以外の部品を使用しても構わないのでしょうか。	ベースキットは規格のものを使用しなければなりません。これに追加する部品については、ベースキット以外のもので問題ありません。
13	地区大会以降、本大会では大幅な改造、性能の向上を行ってもよいのでしょうか。または全く別のロボットとしても良いのでしょうか。	地区大会と全国決勝大会のロボットは、アイデアは変えないようにしてください。そのうえで、大幅な性能向上を図るのであれば問題ありません。全く別のロボットとしてはいけません。
14	スイッチにつながっていなくて、スタート前から回り続けるモーターを組み込んでも良いですか。	スタート前にモーターを作動させることは認めません。